

ビービーシステム

「Exchange 2007 + ExLook 2007」で新情報基盤を構築
高セキュリティと利便性向上を社内外で実現

Microsoft社の新しいメッセージングシステム「Exchange Server 2007」と、その機能を携帯電話から利用できるビービーシステムの「ExLook 2007」。NECパーソナルプロダクツでは、この最先端のソリューションセットをいち早く導入し、高セキュリティで利便性に優れた統合コラボレーションプラットフォームを構築した。

NECパーソナルプロダクツは、NECと複数のNECパソコン関連子会社を再編し、2003年7月に営業を開始したパソコンおよびその関連商品の企画、設計・生産から販売・サポートを一貫して手がけている。

同社では、ビジネスを支えるITインフラに強く求められているコンプライアンス対応およびセキュリティ対策として、暗号化やアカウント・アクセス権管理等々の施策、さらには、プライバシーマークの取得、情報セキュリティマネジメントシステム(ISO/EIC 27001:2005/JIS Q 27001:2006)の認証取得などにより継続的な対策を実施してきた。

しかし、こういったセキュリティ対策は、運用管理が複雑なうえ、必ずしも操作性・利便性がよいとはいえず、人間系の運用に依存しているという問題点があった。

再編で生まれた会社であることから、イントラシステムについては情報インフラが十分に統合されておらず、まちまちの個別システムや運用が存在していた。

そこで、「情報セキュリティの強化とCSRリスクの低減を実現しつつ、ユーザの利便性とコミュニケーション効率の向上を目的として全社統一のコラボレーションプラットフォーム(略して「統合コラボ」と呼んでいる)を構築することにしました」と同社IT戦略部長の永島仁志氏は語る。具体的には、ログ監査・送信メール監査、暗号化チェックをパッ

クエンドで自動的に行うメカニズムの導入によってセキュリティ・コンプライアンス対策をさらに強化し、加えてEメール、スケジュール共有、会議室予約、リアルタイムコミュニケーション、ドキュメント共有などを統一的操作で利用できるコラボレーション環境により、利用者が意識することなく強固なコンプライアンス・セキュリティ対策を実現できる、利便性の高いプラットフォームである。

永島氏は、「利用が促進されることで、利便性や業務効率を向上しつつセキュリティ・コンプライアンス対策も強化されることを目指しました」と説明する。

カスタマイズの柔軟さを高評価

「統合コラボ」のシステムは、複数ベンダーの製品を比較・検討した結果、主にMicrosoft社のソリューションで構成することとし、その中心に「Microsoft Exchange Server 2007」(以下Exchange 2007)を採用した。IT戦略部マネージャーの齋藤英雅氏は、「総合的に見てExchange 2007が優れており、特にセキュリティ対策の機能が当社の狙いに合致していました」という。

ただ、利便性向上として重要な機能である携帯電話からの利用については、Exchange 2007だけでは実現できず、プラスアルファのソリューションが必要であった。

この時、Microsoft社から紹介されたのがビービーシステムの「ExLook」



NECパーソナルプロダクツ
IT戦略部長
永島仁志氏



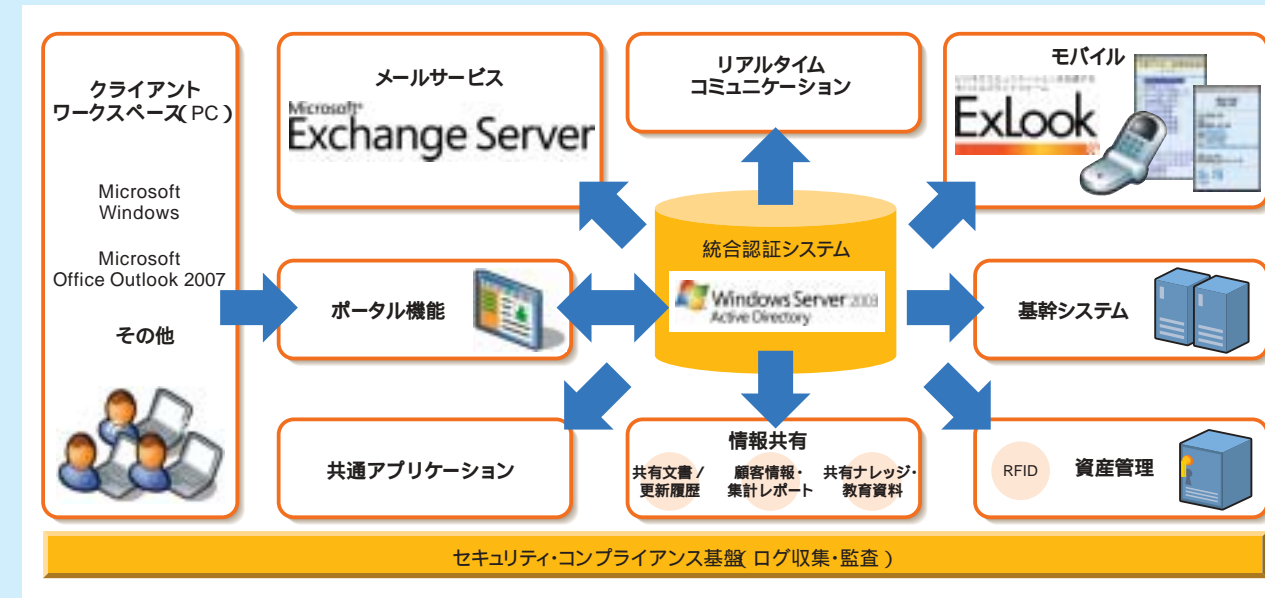
NECパーソナルプロダクツ
IT戦略部 マネージャー
齋藤英雅氏

だった。当時はExchange 2007対応版は開発中で製品化されていなかったため、既存製品の「ExLook 2003」で機能と市場評価を調査したところ、「他に類する製品がないだけでなく、カスタマイズが柔軟に行えるため、利用者の要望にも容易に応えられることに魅力を感じました」と、永島氏は採用理由を語る。

こうして、2006年11月から「Exchange 2007」、「ExLook 2007」のそれぞれの版で構築した検証システムを用いて、IT戦略部の約200人のスタッフによりセキュリティと利便性の観点で徹底した検証試験が開始された。

「正式リリース前に版を提供していただくなど、ビービーシステムから最大限の協力が得られたことで効率よく検証が進められました。また、インストールから設定までトラブルもなくスムー

NECパーソナルプロダクツの統合コラボレーション・プラットフォームの構成



ズに導入が行えました」と、齋藤氏は振り返る。

現在は、正式出荷版によるシステム検証を経て、2007年6月から品川区大崎の本社を手始めに、同年9月末までに開発生産拠点の米沢事業場(山形県米沢市)、保守サポート拠点の群馬事業場(群馬県太田市)と全国33カ所の営業拠点へと全社展開すべく作業が進められている。

活用シーン広げる機能拡張に期待

「統合コラボ」のセキュリティ・コンプライアンス対策の中核は、人事システムと連携させた統合認証システムである。Microsoft社の「Active Directory」を中心として、ログインIDなどの情報は、入社・退職、異動など人事発令と同時に自動更新することで、不要アカウントや無用なアクセス権などによるセキュリティ脅威を未然に防止している。

一方、利用者である各社員は、統一インターフェースの「Microsoft Office Outlook 2007」やブラウザから「統合コ

ラボ」にアクセスし、セキュアな環境下でEメール、スケジュール共有、会議室予約、ドキュメント共有などの機能を用いて業務を遂行ができる。

もちろん、これらの機能は「ExLook 2007」によって携帯電話からも利用可能となっている。「従来、外出や出張の時には、持ち出したPCからインターネット経由でアクセスする方法しかなく、PCに保存したデータはすべて暗号化しているとはいえ、PCの盗難・紛失による情報漏えいリスクがありました。しかし、携帯電話を使えばPCを持ち出す必要がないわけですから、ExLook 2007はセキュリティ対策としても有効なツールです」と、齋藤氏は評価する。

また、「外出が多い営業だけでなく、米沢・群馬に足を運ぶ技術担当者にとって、移動時間の有効利用やコミュニケーションツールとしてExLook 2007が活用されるでしょう。今後は、カスタマイズによって、すでに利用している社内の各種手続きシステムや業務システムと連携させ、統合コラボをモバイル

環境で利用するための重要な構成要素と位置付けたいと考えています」と将来ビジョンを話す。その意味で、ビービーシステムに対しては、機能拡張やカスタマイズにおける継続的な支援と協力を期待している。

同社では、「統合コラボ」による情報共有・コミュニケーションの活性化を通して、業務効率向上が達成できるとの手応えをつかんでいる。セキュリティ・コンプライアンス対策をしながらも間接コストを削減し、結果として収益を向上させ企業競争力の強化につなげ、さらには、ExLook 2007を含めたこの「統合コラボ」を自社内の利用だけでなく、NECグループや顧客企業に対して、ソリューションとして提供する計画も検討中であるという。

お問い合わせ先

株式会社ビービーシステム

営業部
東日本：03-5777-2801
西日本：06-6944-1077
URL：http://www.bbsystem.co.jp/
E-mail：product-exlook@bbsystem.co.jp